



源氏物語に学ぶモテ術を現代にも!

秋葉舞花 齋藤暖太 檜山祐

背景・目的

- 源氏物語から引き出せるモテ術で社会問題解決の糸口が見いだせるのではないか。

(例) 少子高齢化、孤独死、引きこもり、生涯未婚率の増加など

- これらの問題の解決が持続可能な社会の形成につながると考えたから。

すでに分かっていること

- 害のない嘘や冗談が古典においては有用であることが分かった。
- 現代にも通ずる部分はあるが、その全てが残っているとは一概に言い難い。(先輩の研究より)
- 生涯未婚率が増加していることが少子化の原因の一つになっている。

仮説

- 1) 源氏物語には平安時代から続く”モテ術”が隠されている。
- 2) 源氏物語から見つけた”モテ術”は現代でも通用する。

研究の方法

- 源氏物語に隠されたモテ術を本文から見つけ、抜き出す。
- 見つけたモテ術が現代に通用するかどうかアンケートをとる。
- これらのモテ術がどのような効果をもたらすのか考察して、社会問題につなげる。

モテ術

1. 家に押しかける
2. 害のない冗談を言う
3. プレゼントを渡す
4. 積極的にアプローチをする
5. 相手の親しい人から協力してもらう

結果

酒田東高校の2年次にアンケートを行い、63名の方に回答してもらった。

1・家に押しかける

→**通用しない**

2・害のない冗談を言う

→**現代でも概ね通用する**

3・プレゼントを渡す

→**現代でも通用する**

4・積極的にアプローチをする

→**現代でも概ね通用する**

5・相手の親しい人から協力してもらう

→**一概に通用するとは言えない**

結論・考察

- 源氏物語には直接的ではないが関係のきっかけ作りの方法が隠されていた。しかし、素直な伝え方ではなかったため、**現代では通用しなかった**。関係の発展においては**積極的にアプローチする**ことが有効だ。
- 好意を素直に伝えられることに嬉しさを感じるものが現代にも通じる恋愛の価値観だと考えた。

今後の展望

今回発見し、現代人の価値観と照らし合わせたモテ術を実践してみて、その信憑性を確実なものに近づけていくことが必要だと考えた。

参考文献

新潮日本古典集成 源氏物語 新潮社
日本古典文学大系 源氏物語 岩波書店
源氏物語が面白いほどわかる本 中経出版